



# 大島事業所トピック

## No. 312

平成 18 年 7 月 11 日

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行  
〒 100-0212 東京都大島町波浮港 18  
Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383  
ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

### サメによる漁業被害の実態を把握

--- 調査指導船「やしお」サメ分布調査 ---

東京都島しょ農林水産総合センター大島事業所では、これまでサメによる漁業被害の実態把握に取り組んできました。平成 18 年 6 月 2 日には、漁業調査指導船「やしお」が大島・波浮口キンメ場でサメの分布調査を行い、大型のサメを捕獲したので報告します。

#### 5 月下旬から被害多発

大島では、5 月 20 日過ぎから波浮口のキンメ場でサメによる漁業被害が目立つようになってきました。29 日には、被害が多く（鉤にかかった魚が、引き上げる途中で全てサメに喰われてしまうために）漁ができないほどになりました。そして、6 月 1 日には伊豆大島漁協所属の「よし丸」が全長 2.8 m あまりのメジロザメ科のサメを捕獲しました。



写真 1  
「よし丸」が捕獲したメジロザメ科のサメ

#### 「やしお」による分布調査

大島事業所では毎月 2 回程度、サメの分布調査を行っています。今回は、被害が多発している波浮口キンメ場で 6 月 2 日に「やしお」が調査を行いました。

調査では、サメ釣りの餌にするために、まずキンメダイを一本釣りで採集しました。鉤にかかったキンメダイを釣り揚げずに鉤にかかったまま泳がせてみたところ、まもなくガツンという



写真 2  
クロヘリメジロザメ (♂)

あたりでサメが喰ってきました。このサメを釣り上げた後、同じ方法でサメの捕獲を試みましたが、再びサメが喰ってくることはありませんでした。

釣り上げたサメは全長 224cm のメジロザメ科のクロヘリメジロザメでした。伊豆諸島ではヒラガシラやホコサキといった名前と呼ばれています。水深 100 m 前後までの沿岸域に生息し、回遊性で春から夏に北上、秋から冬に南下するサメです。日本の周辺では東京・新潟県以南に分布します。

#### 胃の中にはキンメダイも

胃内容物を取り出してみたところ、体長 30cm 以上のキンメダイが 2 尾出てきました。また、僅かに残った赤い皮からキンメダイとわかる魚肉片、体長 50cm 前後のメダイ、その他多くの魚の骨片に混じって底釣用の釣鉤が 2 本出てきました。

大島事業所では、今後も「やしお」によるサメ分布調査を継続し、漁業被害の実態把握に努めて行きます。また、今回捕獲したサメも、すり身などの原料として利用方法の検討を行っています。



写真 3 サメの胃内容物  
左：キンメダイ、右：メダイ、釣鉤など